

1 はじめに

今治・越智支部では、昨年度末までに、支部内全ての小・中学校にタブレット端末が1人1台配備された。併せて「ロイロノート」や「タブレットドリル」などの学習支援ソフトウェアの導入や電子黒板の配備も進み、ICTを十分に活用できる態勢が整ってきている。そこで、ICTの効果的な活用による学習指導の充実と実践についての研究に取り組んでいる。

2 視聴覚・情報教育夏季研修会（書面開催）

令和3年8月6日（金）に、愛媛県総合教育センターの「出前講座」を利用して、タブレット端末やクラウドサービスを活用した授業改善についての研修会を計画した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面開催となった。

3 ICT機器を用いた教育実践事例集の作成

視聴覚・情報教育夏季研修会が書面開催となったことにより、学校間での情報共有が不十分となった。そのため、今治・越智支部では、研修委員の勤務校での教育実践を取りまとめた。それを「令和3年度ICT機器を用いた教育実践事例集」として今治・越智支部の各小・中学校に配付した。その実践事例の一部を下記に紹介する。

○ 小学校4年・理科

水が沸騰したときに出てくる泡の正体を調べる授業を行った。「ロイロノート」のテキストを使って、泡の正体を予想させ、提出させた。動画や写真をすぐに見せることで、既習事項を振り返ったり、言葉で説明しづらい現象を説明したりすることができた。

「ロイロノート」にあるシンキングツールを活用することで、意見を分かりやすくまとめることができた。

○ 中学校・道徳科

道徳の授業で、「ロイロノート」を用いて意見交換を行った。賛成意見には青色テキスト、反対意見は赤色テキスト、中立的意見には黄色テキストに意見を書かせ、提出させる活動を行った。また、青赤のテキストを二つ並べ、心情パラメータとしての活用も行った。全員の考えを授業に反映させることや、意図的な指名ができること、視覚的にどの意見なのか分かりやすくすることなど、効果的であった。

【電子黒板画面】



【電子黒板画面】



4 成果と課題

今年度から配備されたタブレット端末の活用方法について、各小・中学校が試行錯誤しながら教育実践を行っている。「令和3年度ICT機器を用いた教育実践事例集」を作成したことにより、各小・中学校の実践事例を支部全体で共有することができた。来年度以降も、実践事例を取りまとめ、情報共有することを続けていきたい。